

■平成 24 年度の目標設定について

2012. 8. 23

(1)民間活動促進事業

① 中小製造業の振興

- 企業訪問 80 件以上【行動指標（必達目標）】
- 新たな取組のサポート 3 件以上【成果指標（努力目標）】

【取組内容】

- ★ ビジネス交流サロンのタイミングで、チラシ持参で企業に飛び込み訪問を行う
 - ★ また、一方でアポ入れ形式での訪問も実施予定
 - * 事業者を訪問して、施策情報を提供するとともに、経営・立地に関する情報や要望の聞き取りを行う
- <課題> 中小製造業の現状では、新たに取り組むネタが乏しい（海外進出の話題は多い）

② 地元産農産物の活用促進

- 農業者・商業者訪問 10 件以上【行動指標】
- 農産物を活用した新商品の開発支援 3 件以上【成果指標】

【取組内容】

- ★ 冬に開催予定の「スイーツフェア」でのコンテスト出展用の試作品を 10 品予定している。茨木産いもを使用するか、いも以外でのオリジナル商品のいずれか。
 - ★ 同フェアの販売コーナーにおいても、茨木産いもを使った新商品開発を誘導したい。チャレンジしてもらえる店舗には、いもの材料供給を検討。
 - ★ 上記を含め、おいもプロジェクトの会議に参加し、サポートを行う。
 - ★ おいも以外の農産物活用の可能性を探るため、農業者・商業者を訪問する。
- <課題> いも以外に使用できる地元産の食材はあるかどうか？ これを検証する

③ 地域産業資源の魅力発信

- 民間プロジェクトの支援 1 件【行動指標】
- 情報誌「いばらきさん」の発行 2 回【成果指標】

【取組内容】

- ★ 茨産研究会の活動（市内産商品や事業所などの PR 支援）が自主的な取組へと移行しつつあるため、協力・連携関係を維持しながら、より独立した取組として活動が進むようにサポートする。
 - ★ スイーツフェアの開催などを通じて、事業者に PR の機会を提供する。（PR 支援すべき商品等の情報もあわせて抽出する）
- <課題> 市が直接あるいは間接的に持続可能な PR 支援のスキームを検討し、できるところから実践を始める。

④ 民間プロジェクトの立ち上げ支援

- プロジェクト創出会議の開催 4回（2回開催済）【行動指標】
- 新規プロジェクトの立ち上げ支援 2件以上【成果指標】

- ★ プロジェクト会議への参加を契機に、新規プロジェクトの立ち上げを（期待を込めて）2件以上の創出をあげている。
 - ★ プロジェクト会議参加者にメンバーシートを配付する（第2回会議から実施）。メンバーシートにより、各参加者の求めることを把握し、連携につなげる。
- <課題>個別のPJチームが立ち上がることは、もちろん「いいこと」である反面、サポートできる時間・人員をどう確保するかが課題。

(2) ビジネス交流会事業

- 「ビジネス交流サロン」開催 6回以上（1回開催済）【行動指標】
- サロンから派生する連携 4件以上【成果指標】

- ★ 今年度は、「ものづくり」「食」「クリエイティブ」の3つのカテゴリーを設定する。
 - ★ ビジネス交流サロンにおいてもメンバーシートを配布して、要望把握やマッチングにつなげる。
 - ★ 高槻市や摂津市などとの地域連携を進める。また相互の連携を進めるため、連携の要素をもつテーマや、ショートプレゼン、ワークショップなどの手法を用いる。
 - ★ 1回目の森口さんスピーカーの回では、大阪府市連携事業の鵜田コーディネータがサロン終了後に森口さんを訪問。以後、森口さんが鵜田コーディネータの在籍する mebic 扇町のサポーターとして、事業参画することにつながっている。
 - ★ 8/22に今年度第2回のビジネス交流サロンを開催。
- <課題>連携を意図した集客の戦略が求められる。

(3) ブランド推進事業

- スイーツフェアの開催 1回【行動指標】
- スイーツフェア参画店数（即売会、コンテスト等） 20店舗以上【成果指標】
- ブランドとなり得る商品の選定・創出件数 5件以上【成果指標】

- ★ 今年度冬（1月～2月）にスイーツフェアを実施予定。洋菓子・和菓子店、地域メディア、商工会議所、茨木市などから構成される実行委員会の組織化を検討。
 - ★ 現在、企画を検討中で、9月から実行委員候補事業所等を訪問・ヒアリング予定。
 - ★ ブランドに関する取組の出口（成果）を定め、ステップアップを意識して進める。
- <課題>スイーツフェア関連にPR出展する店舗の確保と集客

(4) アクションプラン推進管理事業

- 「産業振興アクションプラン推進委員会」開催 3回【行動指標】